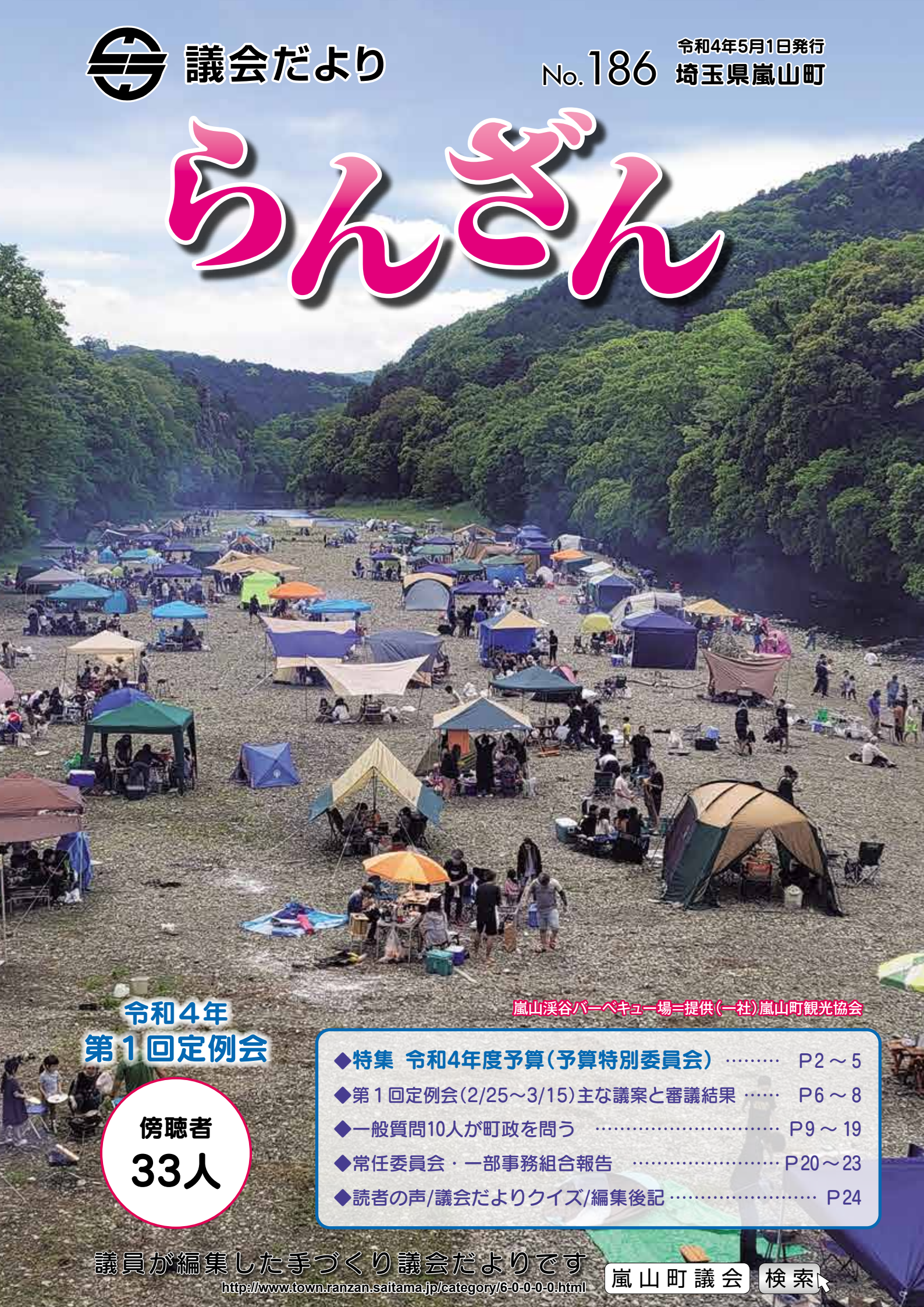


らんざん



令和4年
第1回定例会

傍聴者
33人

嵐山溪谷バーベキュー場＝提供(一社)嵐山町観光協会

- ◆特集 令和4年度予算(予算特別委員会) P2～5
- ◆第1回定例会(2/25～3/15)主な議案と審議結果 P6～8
- ◆一般質問10人が町政を問う P9～19
- ◆常任委員会・一部事務組合報告 P20～23
- ◆読者の声/議会だよりクイズ/編集後記 P24

令和4年度一般会計予算

61億7300万円

可決

予算特別委員会

可燃ごみ処理 民間委託始まる!

「嵐山町ゼロカーボンシティ宣言」

2050年までに二酸化炭素等の
温室効果ガス排出の実質ゼロを
目指す（令和4年3月表明）

小川地区衛生組合の燃やすごみからバイオマスへ

メタン発酵施設等によるごみ処理



- ごみ処理器設置補助金** 19万円
- Q** ごみの減量化が重要である。ごみ処理器の補助の内容は
- A** 新年度は、コンポスト3基から6基、電気式3基から6基と倍の基数を補助する。
- ごみ資源収集運搬委託料** 9796万円
- Q** 収集運搬費の増額の理由は
- A** 小川町から寄居町のごみ処理施設に変更となる。片道8km延長になり、収集運搬業者2社で各2台のパッカー車を3台に増やすため。
- 組合塵芥処理費負担金** 2億4427万円
- Q** 前年度比7936万円増額理由は
- A** 主に、焼却施設の老朽化に伴い、当面、メタン発酵施設等による民間委託処理に変更となるため。

高齢者支援

- 高齢者外出支援タクシー実施委託料** 880万円
- Q** 高齢者外出支援事業について
- A** 令和3年度から利用方法が変更になった。検証した結果、申請率と一人当たりの利用枚数は、南部地域は12.2%で11枚、中心部は18.9%で13枚、北部地域は、6.9%で13枚、令和2年度と比較すると各地域とも申請率は上昇、一人当たりの利用数に差がなかった。

学 校

- 小学校施設改修事業** 299万円
- 中学校施設改修事業** 317万円
- Q** トイレ改修について
- A** 小中学校のトイレは洋式化率が低い順に菅谷小1基、七郷小5基、菅谷中2基、玉ノ岡中2基として改修工事をする。

令和4年度予算は予算特別委員会に付託された。委員長に畠山美幸議員、副委員長に藤野和美議員を選出し、4日間にわたる慎重な審査を経て原案通り可決された。なお、渋谷登美子委員より一般会計予算に対し、部落解放同盟嵐山支部補助金40万円全額を減額し、電子自治体促進事業に30万円増額、図書館管理事業に10万円を増額する修正案が提出され、賛成者少数により否決された。

災害対策

- 農村地域防災減災事業** 3450万円
- Q** 農村地域防災減災事業について
- A** 農業用防災重点ため池27カ所の沼の全ての調査が令和3年度で終了する。令和4年度は、寺沼、水境上沼、水境下沼、蓮沼の4カ所の実施計画を策定する。



電子自治体

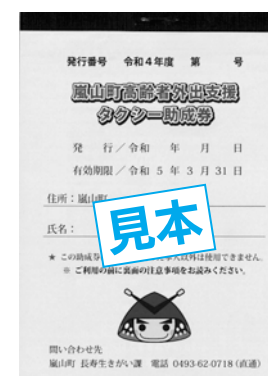
- 統合型校務支援システム共同調達事業** 2250万円
- Q** 統合型校務支援システム共同調達事業の内容は
- A** セキュリティについては民間のクラウドを構築する予定だったが、安全性が確保できないことから埼玉県が進めるクラウドを使うことにした。国を挙げて教員の働き方改革を進めており、教員の勤務状況の管理登録、出席簿、成績表、指導記録等の管理が電子データ化され、事務負担の軽減に期待する。

子育て支援

- 育児ヘルパー派遣事業委託料** 85万円
- Q** 育児ヘルパー派遣の内容は
- A** 0歳～小学生までのお子さんのいる、産褥期や病気で家事ができない方が対象。1日2時間、週5日で月40時間の利用として、申し込みから3カ月間利用できる。委託先は町内2カ所を予定。件数は多くないが必要な支援である。
- 児童虐待・DV対策支援事業補助金** 350万円
- Q** 児童虐待・DV対策支援補助金の活用は
- A** 子ども家庭支援センターの運営事業費1000万円に対する国の補助金である。

観 光

- 観光地域づくり法人推進事業** 8000万円
- Q** 8000万円の内訳は
- A** おもに、観光協会事務経費（人件費等）、バーベキュー場管理費、お土産品開発などのDMO関連事業と、千年の苑関連事業としてのラベンダー園の管理、ラベンダーまつり、新規作物の検討に要する経費などである。
- 観光振興事業** 775万円
- Q** 観光振興事業の内容は
- A** 新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止になってきた。感染対策に必要となる資機材等を購入し、イベント再開に備える。具体的には、受付時の人流を整理するためのテント、イレクターフェンス、カラーコーンや手指の自動消毒装置などを見込んでいる。



タクシー券



ラベンダー園（オープン時）

令和4年度一般会計予算討論

賛 成

犬守 勝義 議員

歳入では、自主財源が依存財源を上回り、財政基盤が強化されたことは、行政活動の自立性や安定性の面で評価できる。
事業計画では、子育て世代の支援として、給付対象を18歳まで引き上げたことも医療費や第3子は半額、第3子以降は無料にする学校給食費などが昨年に引き続き予算計上された。また新たな取り組みとして、心身の不調で家事や育児が困難な家庭に対する育児ヘルパー派遣事業、母子の健康づくりでは、産後間もない母親の支援として産後検診の助成が盛り込まれた。これらは、子育て世代に寄り添い、町の方向性と未来への希望が見えるもので高く評価する。
町は、3月1日に「嵐山町ゼロカーボンシティ宣言」をした。町の豊かな自然を後世に引き継ぐための環境問題の解決に向けた取り組みとして、この宣言の意味は大きく、温室効果ガス削減への道筋を示すことを期待する。
本予算は、厳しい財政の中、町が抱える課題に真摯に向き合い、全体に目配せをしたバランスが取れたもので賛成する。

反 対

川口 浩史 議員

解放同盟への補助金40万円支給は妥当性を欠いている。江戸時代から続いてきた部落差別は、そこに住む者にとって耐え難い苦痛であったと想像する。国は1969（昭和44）年、特別対策を講じ生活環境が大きく改善されていった。しかし進学や就職、それに結婚など差別の意識がその後も残ってはいた。が、これも差別事象はその後みられなくなった。この時点で解放同盟は自ら事業の終了を申し出るべきであったのだ。長い間の耐え難い苦痛は、国に損害賠償を求めていくしかないのではある。それを続ける。それを続けてきたことは、解放同盟と行政に責任がある。こつした経緯のうえ現時点でも差別事象がみられないのだから補助金の支給はするべきでないのだ。次に学校再編審議会の途中経過を町民に説明することが必要と考えるが、教育委員会にはこのような考えがないということである。教育委員会は説明責任があることを自覚するべきである。

反 対

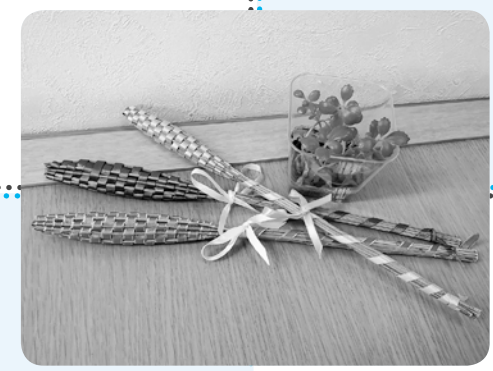
渋谷登美子 議員

3月1日にゼロカーボンシティ宣言を行ったことは、画期的です。政策は気候変動を抑える姿勢に変わりました。
私が、反対する理由は、
1、コロナ禍で多くの市民活動は、リモートワークが普通になったが、嵐山町は町民活動に、オンラインを使うことの必要性を重視していないこと。
2、部落解放同盟嵐山支部の補助金は運動団体活動事業費補助金交付要綱に基づいて交付されていること。運動は、自費、費用を捻出して行い、公費は使いません。
3、嵐山町は数年前から「金を稼ぐ」を優先政策とし、次年度も負担を抱え、その皺寄せで、学校施設の老朽化を放置し、応急措置で対応です。出生数が減る、子どもを育てることがまだ女性に委ねられ、町立幼稚園の3年保育は進まない。
以上、子どもたちの将来の生活環境を守るため、安心安全な生活を守るため、早期の政策転換が必要で。

賛 成

長島 邦夫 議員

我が国を取り巻く社会情勢は大変不条理な大国の横暴のウクライナ侵襲、新型コロナウイルス感染による社会の不安定化、多難なワクチン接種の推進など厳しい状況です。そのような中、4年度一般会計予算は61億7300万円、前年対比25%の増額予算がされ、人口減少、少子高齢化、子育て支援対策に期待される積極予算となっている。事業評価としては私も議員として4期目にあたり訴えてきた18歳までの子ども医療費給付事業、限りある予算内での小中学校給食一部無料化及び新型コロナウイルスワクチン接種事業など、住民の不安を取り除く事業に高く評価をします。ボランティアによる継続的な農地の維持管理支援である多面的機能支援事業、本年3月1日のゼロカーボンシティ宣言は大きく賛同しますが、残念なのは国が林地荒廃防止に大きく補助金を出しているにもかかわらず、利用が限られていることです。ゼロカーボンシティには適正な森林管理が必要であることを念頭に置き、行政運営を進めていただきたいと思います。



特別会計への 主な質疑

国民健康保険

Q 国民健康保険財政調整基金の残高について

A 現在の基金の総額は約2億2200万円だが、令和3年度に約7300万円、令和4年度に約8000万円を取り崩すことにより、約6900万円となるが、令和3年度の決算で約3000万円程度は積み戻せる予定であり、約1億円となる見込み。基金によって保険料の上昇を抑えており、残高が少なくなると、今後税率について検討せざるを得ない状況になるかもしれない。

後期高齢者医療

Q 来年度の保険料について

A 令和4年度・5年度の保険料は、均等割が44170円、所得割が838%であり、現行に対して均等割が2470円、所得割が0.42ポイント増となる。

介護保険

Q 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業の内容について

A 認知症の方を支援する「チームオレシ」するという仕組みを立ち上げるために、認知症サポーター養成講座を受講した方を対象



水道事業

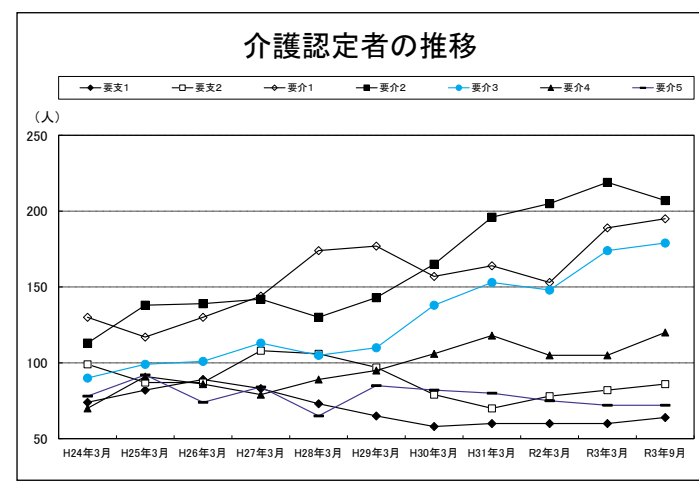
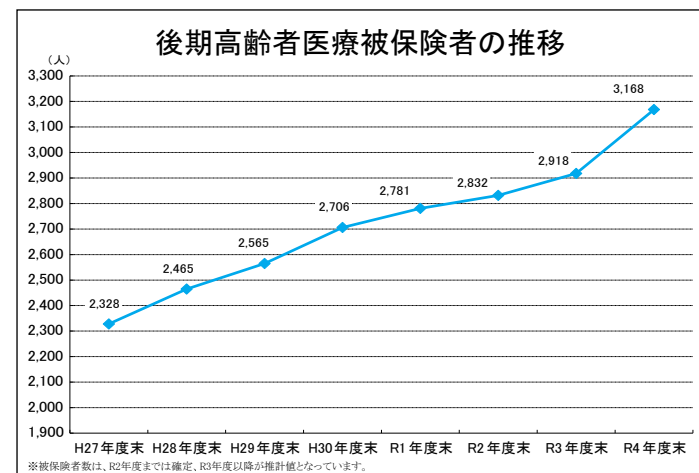
Q 新浄・配水場について

A 令和4年度に遠山補地の土地を買収、令和5年度・6年度にかけて土地を造成、令和7年度・8年度に建設して、令和9年度から稼働する予定。

下水道事業

Q 浄化槽転換促進奨励補助金について

A 単独浄化槽から合併浄化槽への転換補助を、今年度は15基であったが来年度は26基を見込んでいます。第2期事業が始まるので、単独浄化槽から合併浄化槽への転換に力注いでいきたい。





10人の議員が町政を問う

一般質問とは
議員が、定例会において、町の行財政全般にわたって、町に対し疑問点を
ただし、所信の表明を求めるものです。それにより、現行の政策を変更、是
正させあるいは新規の政策を採用させたりするものです。一人の議員の持ち
時間は、質問、答弁を含めて100分以内です。

(質問順)

1 まつもと みこ 松本 美子

- 質問事項 ◆子ども家庭支援センターb&g
らんざんの運営状況について
◆有害鳥獣捕獲について
◆水道水の大切さについて

2 おおの としゆき 大野 敏行

- 質問事項 ◆隣接する立竹木の管理について
◆嵐山町管理型浄化槽推進事業（第
2期事業）について

3 いずもり かつよし 伏守 勝義

- 質問事項 ◆コロナ禍における生活困窮者自
立支援と生活保護について
◆就学援助申請数と認定者数について
◆5歳から11歳の子供への新型コ
ロナワクチン接種について
◆嵐山町エリアリノベーション支
援事業について

4 しぶや とみこ 渋谷 登美子

- 質問事項 ◆学校再編に係るまちづくりの協
議について
◆町民文化大学の復活を
◆中学校の校則について
◆気候変動への対応へ電気自動車
のカーシェアリングを

5 はたけやま みゆき 畠山 美幸

- 質問事項 ◆駅西口開発について
◆ヤングケアラー支援について
◆停電時在宅ケア可能な発電機
の補助について
◆人・農地プランの実質化について
◆生理の貧困について

6 あおやぎ けんじ 青柳 賢治

- 質問事項 ◆嵐山町公共施設個別施設計画に
ついて
◆重忠まつりを新たな郷土のまつ
りに

7 ながしま くにお 長島 邦夫

- 質問事項 ◆中心市街地活性化について
◆森林環境譲与税の活用について
◆ふるさと納税について

8 かわぐち ひろし 川口 浩史

- 質問事項 ◆学級閉鎖などで余る給食の利用
について
◆開発申請にかかる協議には環境
課を入れることについて
◆南部グラウンドの指定管理者の指
定について

9 ふじの かずみ 藤野 和美

- 質問事項 ◆新型コロナ対策について
◆ケア労働者の処遇改善臨時特例
事業について
◆来年度の保育所の入所状況について
◆国民健康保険について
◆有機農業の推進について

10 こばやし さとし 小林 智

- 質問事項 ◆行政情報の利活用と安全管理に
ついて

◆質問事項のうち、網掛け部分につい
ては、記事を掲載してあります。

令和4年第1回定例会 議案と審議結果

議案 番号	賛否の分かれた町長提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました。	審議 結果	小林 智	山田 良秋	伏守 勝義	藤野 和美	大野 敏行	畠山 美幸	長島 邦夫	青柳 賢治	川口 浩史	松本 美子	渋谷 登美子	森 一人
議案 第7号	令和3年度嵐山町一般会計補正予算（第7号）議定について 歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億253万2千円を追加し、総額74億 578万9千円とするもの。	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	議長
議案 第11号	令和4年度嵐山町一般会計予算議定について 歳入歳出予算の総額を、それぞれ61億7300万円とするもの。	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	×	議長
議案 第13号	令和4年度嵐山町後期高齢者医療特別会計予算議定について 歳入歳出予算の総額を、それぞれ2億7040万円とするもの。	可決	●	●	●	×	●	●	●	●	×	●	●	議長
議案 第17号	公の施設の指定管理者の指定について（嵐山町営南部グラウンド） 町営南部グラウンドの指定管理者を指定するため、議会の議決を求め るもの。	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	議長

議案番号	全員賛成の町長提出議案
承認 第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度嵐山町一般会計補正予算(第5号)) 子育て世帯への臨時特別給付金事業の執行のため。
承認 第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度嵐山町一般会計補正予算(第6号)) 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業の執行のため。
議案 第1号	嵐山町手話言語条例を制定することについて 手話を通じて互いに認め合い、支え合う共生社会を実現するため。
議案 第2号	嵐山町育児支援ヘルパー派遣手数料条例を制定することについて 育児支援ヘルパー派遣事業の実施に伴い、必要な事項を定めるため。
議案 第3号	嵐山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて 育児休業を取得しやすい勤務環境を整備することに伴い、所要の改正を行うため。
議案 第4号	嵐山町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正することについて 人事院規則等の一部改正に伴い、所要の改正を行うため。
議案 第5号	嵐山町附属機関設置条例の一部を改正することについて 上下水道事業運営審議会を設置することに伴い、所要の改正を行うため。
議案 第6号	嵐山町立図書館設置及び管理条例の一部を改正することについて 町立図書館の休館日の見直しに伴い、所要の改正を行うため。
議案 第8号	令和3年度嵐山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）議定について 歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億3635万円を追加し、総額20億4351万8千円とするもの。
議案 第9号	令和3年度嵐山町水道事業会計補正予算（第2号）議定について 収益的収入を3242万1千円増額及び収益的支出を937万3千円増額し、資本的支出を1億2705万9千円減額するもの。
議案 第10号	令和3年度嵐山町下水道事業会計補正予算（第2号）議定について 収益的収入を348万9千円増額及び収益的支出を69万8千円増額し、資本的収入を1114万9千円減額及び資本的支出を1812万8千円減額するもの。
議案 第12号	令和4年度嵐山町国民健康保険特別会計予算議定について 歳入歳出予算の総額を、それぞれ19億3760万円とするもの。
議案 第14号	令和4年度嵐山町介護保険特別会計予算議定について 歳入歳出予算の総額を、それぞれ14億8500万円とするもの。
議案 第15号	令和4年度嵐山町水道事業会計予算議定について 収益的収入を5億737万6千円及び収益的支出を4億5323万3千円、資本的収入を1千円及び資本的支出を3億6312万9千円とするもの。
議案 第16号	令和4年度嵐山町下水道事業会計予算議定について 収益的収入を5億9049万9千円及び収益的支出を5億6749万1千円、資本的収入を2億3552万3千円及び資本的支出を3億675万円とするもの。
議案 第18号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について 埼玉県都市競艇組合の名称変更に伴い、規約を変更することについて協議したいので議会の議決を求めるもの。



松本 美子 議員

未来の児童に
温かい心で

問 子ども家庭支援センターb&gらんざんのコロナ禍での感染予防策と運営状況は。

答 福祉課長 入室時の検温、マスク着用、手洗い・うがいの徹底、室内換気や椅子等の除菌清掃を徹底し、利用人数の制限、ソーシャルディスタンスの確保、アクリル板による仕切り、黙食等の感染対策を行った。コロナ以前の平日は15人程度受入れしていたが、コロナ禍では1日4人〜5人とした。

安心・安全な環境で学びを

答 安全対策に取り組んでいく

問 新たに購入した送迎用車両の活用は。

答 福祉課長 町内全ての小学校児童を対象としており、放課後、各学校の児童の送迎車として利用している。b&g財団への購入要望が受理され、7人乗りの送迎車両を購入した。

わな（通年実施）がイノシシ12頭、シカ13頭。

問 農業被害者への救済措置は。

答 農政課長 農業共済の収入保険により一定額以上の被害に遭った場合は補填される制度がある。

水の大切さを考える

問 水道管の凍結による破裂漏水の対応について。また、蛇口の取替については。

答 上下水道課長 ホームページ、広報で凍結予防の方法や漏水時の対応を掲載。また、窓口で町内指定工事店一覧表を配付。蛇口の取替は前向きに考える。

農作物の被害対策を

問 有害鳥獣捕獲のための銃器、箱わな、くくりわなの年間捕獲数は。

答 農政課長 駆除は主に猟友会に委託している。令和2年度の捕獲数は銃器（4・5・9・10月の4カ月間実施）が鳥類57羽、



b & g 嵐山町子ども家庭支援センターの送迎車



大野 敏行 議員

自分の土地管理
は地主の責任です

問 民有地と民有地間の処理についての相談はどの程度あるか。

答 環境課長 令和2年度で62件。

問 解決方法はどのように対処しているか。

答 環境課長 所有者に直接相談内容を伝える場合と適正管理の通知を発信している。

再問 所有者自身で伐採しても、運び出す車や捨てる場所がない。どうすれば良いか。

再答 環境課長 造園業者・シルバー人材センター・親戚・友人

隣接する立竹木の管理について

答 各種法令に基づき剪定・伐採の通知を出す

知人等に頼むことが一般的。

再問 できるだけお金をかけずに処理をしたい場合、シルバー人材センター等での半日500円程度の軽自動車貸出システムを検討しているか。

再答 環境課長 前向きに検討する。ただし、粗大ごみ扱いで小川地区衛生組合に持ち込みとなる。

嵐山町管理型浄化槽推進事業（第2期事業）について

問 寄付浄化槽のメリットは。

答 上下水道課長 通常使用における機器の故障に伴う修繕費

用など、突発的な負担がないことが大きなメリット。

再問 寄付浄化槽を導入する費用負担と配管工事費の補助金を伺う。

再答 上下水道課長 浄化槽買取費用の10分の1を受益者負担金としている。配管工事費の補助は40万円、工事困難箇所がある場合には20万円加算し、合計60万円まで出る。

再問 寄付すると浄化槽分として水道代が大幅にアップするとの話を聞く。標準仕様でどのようになるか。

再答 上下水道課長 上下水道使用量に準じて請求となる。

再問 省エネ型浄化槽システムは導入されているか。

再答 上下水道課長 当初から年々改良されている。

再問 2013年度比CO₂排出量を26%削減と聞いている。もっとPRの必要があるのでは。

再答 上下水道課長 担当課共々広報をしていく。

単独転換浄化槽
設置工事例



① 単独浄化槽撤去



② 合併浄化槽設置



③ 配管工事



伏守 勝義 議員

コロナ禍における生活困窮自立支援と生活保護について

答 寄り添った形でしっかりと就労支援をする

コロナ禍で生活困窮者が増えていくというが…

問 (1) 町民の支援相談件数と相談内容は、(2) 生活保護受給者数が増えない理由は、

答 福祉課長 (1) 生活困窮者自立支援法に基づき自立相談支援は、県の委託を受けた埼玉県社会福祉協議会のアスポート相談支援センター埼玉西部で実施している。相談件数は、2019年度30件、2020年度67件、2021年度49件。相談内容は、住宅費に関する相談、就労支援に関する相談が主なものであった。

(2) コロナ禍の影響による休業や失業で、生活資金の悩みの場合は、一時的な緊急貸付というところで、生活資金貸付制度による生活資金の支援を受けていることが理由と考えている。

再問 町ができることは何か。

再答 福祉課長 働ける状況の方には、寄り添った形で就労支援をしっかりとしていくことだ。

就学援助申請数と認定者数について

問 (1) 2019年度から2021年度の申請数と認定者数は、(2) 認定者のひとり親世帯の割合は、

答 教育長 (1) 要保護児童生徒の認定者数

2019年度13人、2020年度11人、2021年度7人。

準要保護児童生徒数

2019年度申請者数220人、認定者数192人、2020年度申請者数238人、認定者数195人、



アスポート相談支援センター埼玉西部＝埼玉県ホームページから

2021年度申請者数235人、認定者数210人である。(2) 該当する世帯数は、2021年度は、81世帯で、認定世帯の約56%となっている。

嵐山町エリアリノベーション支援事業について

問 事業の内容は。
答 まちづくり整備課長 武蔵嵐山駅周辺において、町民が「ちよつと楽しい、ちよつと面白い、ちよつと心地よい。」と感じる魅力的なエリアを創出するための、きっかけづくりの事業を展開するものである。



渋谷登美子 議員

学校統合、北部地域と協議を

答 審議会が、審議内容、方法を決定する

七郷の人口減少進む、どうするか

問 学校再編審議会を傍聴していると、現菅谷中に新中学校、新小学校を建設するという答申が提出されそう。審議会は北部地域で状況説明、住民協議を経て答申すべきだが、

答 教育委員会事務局次長 審議会の審議内容、方法は審議会が決め、答申提出は審議の進捗で決定。

問 中学校を1校にする場合、玉ノ岡中に先行統合し、その間に新中学校を建設するが生徒の安全確保は。特に玉ノ岡中学の渡

り廊下はガラスで、災害時に危険。長寿命化改修すべきだ。環境省の脱炭素化で2分の1補助がある。学校統合の前にやるべきではないか。

答 教育委員会事務局次長 学校統合がどのような形になっても生徒が安全に学べることを優先する。

また、大規模な修繕は、学校のありかたが定まってからになる。

再問 小中学校のあり方はまちづくりの根幹になる。北部は子どもがいなくなる。地域で跡地利用も含め協議し、再編は地域の方が納得できる方法を。

再答 教育委員会事務局次長 学校の再編

は、少子化が要因であり、将来の町の中学校の形が決まった後、跡地利用について地域の皆さんと協議する。

中学校校則は

問 LGBTの生徒に

対応するため、制服は新中学校設置に合わせて変更する考えだった。学校再編に係わらず校長の判断で検討会を設置し基準を決定すべきである。靴は白い運動靴、髪型等も規制があるが。

答 教育長 制服や規則は社会や時代の変化に対応しているか検討が必要である。校長で協議する。



玉ノ岡中学校制服



老朽化が心配される玉ノ岡中学校渡り廊下



畠山 美幸 議員

ブラッファウトに
備えた対策を！

問 在宅ケアする家庭が災害時に停電し命綱の人工呼吸器等が止まってしまわないように、発電機の補助の考えはありませんか。

答 福祉課長 在宅で人工呼吸療法により人工呼吸器を利用している場合、非常用電源として外部バッテリーを利用する。そのバッテリーの電気が切れた場合に備えて、自家発電機が必要と考えられる。その場合の補助ですが、障害者日常生活用具給付事業に追加種目として検討したい

人・農地プランの実質化について

問 昨年出された指針には『地域の話し合いを再活性化して、将来にわたって地域の農地を誰が担っていくのか』『誰に農地を集積・集約していくのか』を地域の皆さんで決めていく必要があります。と書かれています。嵐山町はどのようにプランニングしていくお考えですか。また、スマート農業の考えについても聞か。

答 農政課長 人・農地プラン策定は、平成26年3月より策定された。4回目の見直しを行うために、10年後を見据えた農地利用アンケートを実施し、地域の農業や自身の農業の状況、集落営農への意識など9項目の内容について調査を行い、その結果を踏まえて本年12月に北部・中部・南部の3ブロックに分けた地域座談会を実施。ここで出された意見をもとに関係機関や農業者の代表と調整しながら地域の中心的担い手中心経営体の規模拡大等の意向に合わせて農地の集積・集約を進め将来方針策定。また、集積・集約化された農地利用を効率化するため、ロボットやAIなどの先端技術を活用した「スマート農業」など

導入も必須。新年度実施する。



ドローンによる鉄コーティング播種の写真 = 提供 東松山農林振興センター

在宅ケアの命綱の器機が停電で止まらない対策を 障害者日常生活用具給付事業に追加で考える



青柳 賢治 議員

不足額には町民
の理解が大事

問 嵐山町公共施設個別施設計画について

(1)長寿命化判定フローの活用方法。
(2)将来方針に対する、短期・中長期年次計画の考え方。
(3)5年以内に優先的に取り組むとした各施設への検討、実施内容は最適か。
(4)公共施設への投資額年平均5億2千万円、過去の投資額2億6千万円を上回る。対策の効果と実現可能性は。

答 地域支援課長 (1)計画は持続可能な公共施設の将来像を描くために策定したもので長寿命化判定フローについては、施設の効率的な更新サイクルを目指すための目安。(2)施設の状態や必要性、将来的な財政負担を考慮し取りまとめたもので、今後の施設管理の基となり、検討材料になる。(3)持続可能な将来像を描くために優先的に検討、実施すべきものとなっている。町の財政状況と他の重点事業を勘案し取り組んでいく。(4)これまでの平均投資額を2億6千万円上回る結果となっている。「積極的な民間活力導入」について効果は大きいので優先的に検討

公共施設投資額不足に広域の考えは

答 総合的に勘案する

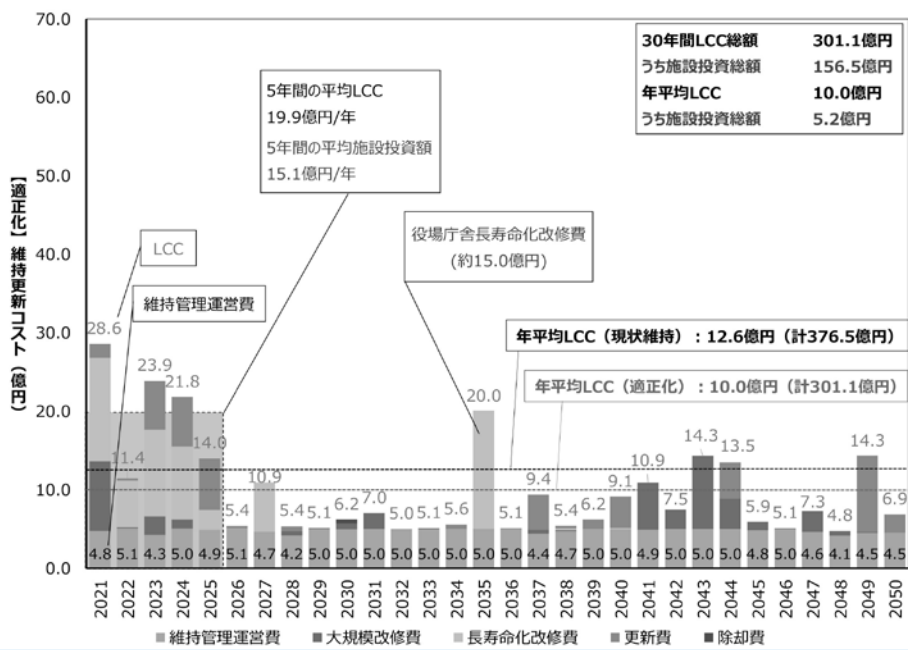
すべき対策。「効率的な更新・整備」と「施設点検と支出可能範囲内での着実な保全」については前記より効果は小さいものの取り組みやすい対策であると認識している。「国・県等の財政措置の活用」については必然であり効果は大きい。

再問 相当の不足額になる、広域連携のような考えかたも必要と思うが。

再答 町長 今後の財政需要をにらみ総合的に勘案し進む。

再問 公共施設への副町長の所感は。

再答 副町長 年数の経過した公共施設をどう整理するかが大事、しっかり取り組みたい。



「対象公共施設を適正化した際の LCC (ライフサイクルコスト)」(出典：嵐山町公共施設個別施設計画)

用語解説

ライフサイクルコスト…建設・修繕・解体・維持運営費用など、建物の建設されてから解体されるまでに係る総費用



長島 邦夫 議員

中心市街地の空洞化対策は

答 財政力、経営力のある民間企業に進出願いたい

堤根 早も開花したが
ウツリソウの侵入が気
でない。

問 駅前には駅舎の改修、嵐なびの開設、ロータリーの改修等、順調に推移が見られるが、本年、金融機関の移転が公表され、空洞化が心配される。取り組みは。

答 まちづくり整備課長 都市再生整備計画に基づき整備を進め、時間は要したが地権者、関係者との交渉協議が終了、事業終了に向けて進んでいる。
答 町長 にぎわいづくりにはそれなりの財政力、経営力のある民間企業に進出願い

たい。その後に相乗効果で個人店が活性化されればと考える。水面下では様々な調査、働きかけを進めている。
問 県道停車場線には歩道拡幅、一方通行策が指摘されているが町の考えは。

答 まちづくり整備課長 周辺活性化10年計画において歩道の確保を県に要望している。
ふるさと納税について
問 昨今、都会に移り住む人が多くあり、地方は人口減、税収減に苦しんでいる。故郷に恩返しをしたい、また返礼品を期待し、ふ

るさと納税制度が拡大している。町外へのふるさと納税額と、当町への納税額の差は自治体にとって大きな問題となっている。現状は。
答 総務課長 町外への寄付額については平成30年、令和元年、令和2年共、約2500万円前後である。一方、町への寄付は平成30年、令和元年、令和2年迄、200万円強で推移していたが、本年度は2月16日現在、約2888万円と大幅な増額となっている。
問 町の返礼品の対応状況は。
答 総務課長 令和元年までは6事業所40品目程度であったが令和2年、3年につ

充実に努め、現在13事業所、90品目程度となっている。
問 新たな返礼品開発は。

答 総務課長 5事業所の追加掲載に取り組んでいる。季節限定品や定期便等の検討も進め、充実を図る。



春の香りが訪れる！！= R4.3.17



川口 浩史 議員

開発にかかる大規模伐採の各課協議には環境課を入れるべき

答 マスタープランには環境課も入って決めるのでそれを基本とします

気候変動に関心を
もってゆることが
大事

問 川島地区に商業施設が建設されることに伴い2.7haもの山林が伐採される。気候変動による猛暑や豪雨を考えると山林は重要である。人間一人が1年間に排出するCO₂は320kgであり、これを吸収するのに杉の木23本が必要なのである。それだけに大規模な伐採には「環境課」が入ることが大事である。しかし入っていないのか。そのため今後の開発には入れるべきでないか。

問 新型コロナウイルスの感染給食の利用が課題になっている。どのように利用しているのか。
答 教育長 キャンセルできないかった食材は栄養士の指導のもと

答 まちづくり整備課長 (質問の) いわゆる産業系12号の指定は、都市計画マスタープランに定めている土地利用方針が原則となる。マスタープランの策定には環境課も入っている。したがって今後もこのような方法でおこなっていく。

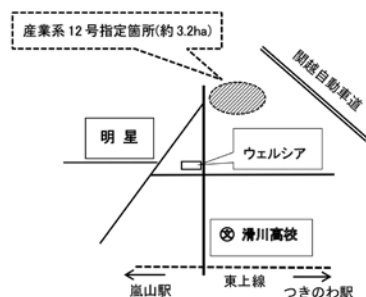
学級閉鎖による給食の利用について

今回は南部グラウンドの指定管理は1年だけにすべきだ

問 南部グラウンドの指定管理の条例には「原則公募」とある。しかし今回は「随意契

と登校している児童生徒に量を多く出している。
再問 食品ロスにはなっていないから良い方法とは思う。さらに良い方法はコロナで仕事もなく困窮している家庭に届けることだ。検討してもらいたい。
再答 副町長 急ぎよの学級閉鎖だから、その日に届けることは難しい。

約」で5年間の長期契約をするものである。これでは原則も例外も同じになり原則とした意味がなくなる。例外は1年だけにすべきだ。
答 企業支援課長 例外であってもしっかりと審査して決めるので、問題はない。



この山林がなくなる=R4.3.28



藤野 和美 議員

国民健康保険税が増額されることは

答 令和4年度の増額の予定はない

国が有機農業を推進。絶好の機会と思うが

問 コロナ禍で多くの町民が経済的困難を抱えている中、国民健康保険税が増額されることは。

答 税務課長 令和4年度の増額の予定はない。5年度以降は、医療給付の状況や基金の残高などを見ながら検討していく。

再問 コロナ特例減免を行う考えは。

再答 税務課長 令和2・3年度は実施したが、4年度はまだ国から通知がきていない。コロナ関係で支給された給付金の分

を減免する考えは。
答 町長 国保会計を総合的にみて判断する。

問 滞納者への対応は。

答 税務課長 本人等の意向も聞きながら、個別に判断し状況にあった対応をしている。納付能力がないと判断した場合、強制的な取り立てはしない。

コロナ感染対策は

問 ワクチン接種の見通しは。

答 健康いきいき課長 追加接種は4月末までに概ね終了予定。その後は、これから1・2回目の接種を希望する方などにも接種の機

会を提供していく。小児接種についても進めていく。

問 自宅療養者への支援は。

答 健康いきいき課長 パルスオキシメーターの貸与、食料品、生活必需品等の支給などを行っている。

保育所入所状況は

問 待機児童は。

答 福祉課長 令和4年度は279名が利用予定。待機児童はいない。

問 多子世帯で複数の保育所に通うことは。

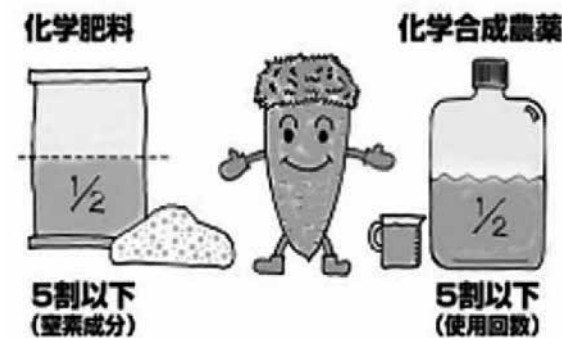
答 福祉課長 兄弟姉妹は、同じ保育所

への入所を優先している。

有機農業の推進は

問 国が2050年までに農地の25%で有機農業を行うとの方針を出した。町として

どのように推進していくのか。
答 農政課長 町では環境保全型農業推進協議会が中心となり取り組んできた。今後有機農業・減化学肥料に基づいた農作物の栽培の普及などに取り組んでいく。



減農薬・減化学肥料の農業＝農水省のHPより



小林 智 議員

行政情報の利活用と安全対策は

答 セキュリティポリシーに基づく運用とオープンデータの推進に努める

十分な安全対策の上で利活用推進を！

デジタル時代を迎えた行政情報の安全対策は

問 国では今後5年間で官民挙げてデジタル時代のインフラを創としているが、足元の課題として町の安全対策は。

答 地域支援課長 嵐山町セキュリティポリシーに基づき、どのような情報資産をどのように守るかといった利用・運用・管理のルールを定め情報セキュリティ対策を実施している。

再問 サイバー攻撃や情報漏洩事案などが発生した場合の対応として防災計画には位置づけられているか。

再答 地域支援課長 防災計画には位置づけられていないが、副町長を最高情報統括責任者とする情報セキュリティ委員会を設けて体制整備を図っている。

問 インターネット環境は不特定多数の利用があり安全面の管理は特に重要と思われるが、町のホームページの安全性は十分か。公表できる範囲で対策は。

答 地域支援課長 ホームページの運営委託先と県セキュリティクラウドの両者に

より二重で監視しているほか、改ざん防止策として1時間ごとに自動修正する仕組みとしている。

さらに令和5年2月にはホームページの更新時期を迎えるのでその機会により安全な暗号化した通信方法に切り替える予定としている。

問 行政データの蓄積による利活用は、今後社会的利用も含めて進むと思われるが、データベース整備や公開を積極的に行っていく予定は。

答 地域支援課長 統計情報については定期的にホームページに公開。また、埼玉県オープンデータポータル

ルサイトを活用し、広報嵐山・AED設置場所等を公開しており、

オープンデータの利活用の推進と町民の利便性向上に努める。

オープンデータとは

オープンデータとは、行政が保有するデータを、誰もが二次利用できる形式で公開し、社会が効果的に活用することにより、新たな価値を創造していくとするものです。

埼玉県のオープンデータ化の推進においては、埼玉県などが保有しているデータについて、二次利用できる形式による公開を拡大していくとともに、民間企業とのマッチングや複数データの組み合わせ等を図ることで効果的なデータ活用を促進していきます。

埼玉県オープンデータポータルサイトについて

埼玉県オープンデータポータルサイトでは、埼玉県などが提供するオープンデータを一元的・横断的に検索することができます。また、必要なデータをダウンロードして利用することができます。更に、データを加工して再利用することもできます。これにより、例えば、企業のマーケティングや商品開発などの新たなビジネス展開に活用できます。

「埼玉県オープンデータポータルサイト」より <https://opendata.pref.saitama.lg.jp/> 嵐山町も積極的な公開で使える情報へ。

総務経済常任委員会

ウイズコロナ時代におけるまちづくりについて

1月14日の委員会

資料「近隣市町村のコロナ禍におけるイベント等の対応」を参考に周辺自治体のコロナ禍対応の把握と「地域コミュニティ推進のあり方」、「イベント開催のあり方」について協議。

1月24日の委員会

町の対応の総括と短期的な方向性について次の5項目をテーマに協議。

① 恒久的な感染防止対策

国の指針、彩の国の新しい生活様式を基にしながら恒久的な感染防止が必要。

② オンライン化の推進

利用者中心の行政サービスを徹底し、簡単で便利であること

を目指すオンライン化とコミュニティ活動の選択肢の一つとしてオンライン化が必要。

③ 会議や手続き等の簡素化・柔軟化

オンライン化の推進により、会議や研修、行政手続き等の効率化や簡素化を図ることが期待できる。さらに、日本には押印文化があるが、法律で決められている以外は、省略することで簡素化が期待できる。

④ 野外活動推進のあり方

基本的な感染対策のもと、一定の規制をもつながら野外活動の推進を図る。

⑤ 地域コミュニティとイベント開催のあり方

基本的な感染対策のもと、内容や開催方法、規模を縮小するなど工夫することで実施は可能。

2月6日の委員会

町のオンライン化整備状況と押印廃止に向けた状況について

今後の観光振興のありかたについて

1月14日の委員会

体験型「観光農園」の可能性について協議。

2月9日の委員会

松本委員より北部地域の活動状況について説明を受け、意見



総務経済常任委員会の様子

交換。

2月15日の委員会

農政課長より次の項目について説明を受けた。

① 北部地域で農業と観光振興を地域活性化につなげる活動をしている個人や団体の状況。

② 活動を展開するための人材発掘や連携の可能性、農地の活用状況、農業者の営農状況。

③ 嵐山町全域における農に関わる観光振興の可能性。

④ 北部地域の認定農業者のネットワークについて。

⑤ 市民農園、観光農園の立ち上げ、運営に係る補助制度について。

行政が応援して立ち上げることはできないか。

A 市民農園を立ち上げる際、しかも農園のように農業者が集まって自己の農地を貸し付ける方法と地方自治体が市民農園を設置するかによって手法が変わる。

文教厚生常任委員会

ウイズコロナ時代における高齢者の健康維持・教育環境について

12月13日の委員会

ひまわりクラブ、ひまわり第2クラブを現地視察。

1月12日の委員会

支え愛資源マップを参考に調査方法等を検討。「現状の実態を把握し課題を出し合う」ために意見交換会を予定。

1月26日の委員会

社会福祉協議会からの資料に基づいて調査研究。

◎資料の主な要点

【介護保険係】

・何度が緊急事態宣言があったが保険者の指示で感染対策に留意し訪問支援。

【お助け事業】

・利用者家族が町外や都内のため、買い物、見守り支援が増えている。

【コロナ特例貸付】

・コロナが理由で失業や減収された方への貸付。申請者は多様で、飲食店や工場勤務、小売店や自営業者等。

【むかし嵐丸庵】

・活動を止めざるを得ない状況が続き、なかなか前に進めずにいる。

【サロン活動】

・以前のように気軽なおしゃべり、お茶などできない。

2月7日の委員会

嵐山町民生・児童委員（役員）と意見交換

◎民生委員の意見

・コロナ禍にあって関わり方を工夫し、孤立を感じさせない努力をしている。
・孤立死のようなことはあってはならない。近所同士で身近に確認し合う仕組みもあると

良い。

・健康教室など、人数、回数を工夫し、実施してほしい。
・訪問活動も自粛で、困りごと、安否確認などもままならず、一人暮らしの高齢者の精神的ダメージを心配。

◎主な質疑応答

Q 民生委員同士の横のつながりや行政のサポートは。

A 事例発表などを通し、行政からの回答などをいただいている。ここ2年は新しい委員の意見交換ができてない。

Q 地域の連携やつながりをどう感じているか。

A 民生委員の仕事は日常的にできると思えない。民生委員の役割を考えてほしい。班長、区長との密接な連携ができないものだろうか。

◎意見交換後の委員意見

・各事業実施の可否について町が指針を示す必要がある。
・行政から住民の不安を取り除くような働きかけが必要。



民生・児童委員（役員）との意見交換会=R4.2.7

・コロナに対する対応、対策などを情報発信することで地域、高齢者へ安心感を与える取り組みを考える。
今後はフレイル対策について研究する。

一部事務組合報告

小川地区衛生組合議会

バイオガスパラント(メタン発酵施設)へのごみ処理
民間委託が始まりました。

2月21日(月)令和4年第1回定例会が小川町議会
議場にて開会され、諸報告、議案4件の審議等が
行われ、原案どおり可決されました。

●諸報告

閉会中議長出席の会議1件。

●議案1号

組合職員の勤務時間、休日
及び休暇に関する条例の一部
を改正する条例制定
※国の制度に準じた改正。

●議案第2号

埼玉県市町村総合事務組合
の規約変更について
※埼玉県都市競艇組合の名
称変更に伴い埼玉県市町
村総合事務組合の規約を
変更することについて議
決を行うもの。

●議案第3号

令和3年度小川地区衛生組
合一般会計補正予算(第3号)
※衛生費の減額等に伴い歳

入歳出とも7997万円
の減額を行うもの。
債務負担行為
オリックス資源循環(株)
との可燃ごみ処理委託を
行うもの。
処理委託期間 10年

●議案第4号

令和4年度小川地区衛生組
合一般会計予算
歳入・歳出額
計 15億6968万円
前年度予算比
2億2788万円増
※可燃ごみ処理の民間委託
による委託費用等の増加
によるもの。

議員研修会

1月25日(火) 嵐山
町議場において、講師
に埼玉県移送サービス
ネットワーク代表の笹
沼和利氏と、町内で福
祉有償運送事業を行
なっているNPO法人
じもとメディア(らん
らんサポート)の丸山
香菜子氏を迎え、議員
会主催の議員研修会を
行いました。
はじめに、笹沼氏よ
り「地域の移動手段に
ついて」をテーマに、
高齢化・人口減少に伴
う外出をめぐる諸問題
や先進事例について講
演を受けた。
その後、丸山氏がト
ヨタ財団の調査助成を
受けてまとめた「中山
間地域で障害者も高齢
者も、誰もが自由に移
動できるしくみづくり
のための調査」の実施
ヒアリング調査報告に
ついて説明を受けた。



議員研修会(議場にて) = R4.1.25



丸山氏(左) 笹沼氏

議会報告会中止のお知らせ

嵐山町議会では来たる5月21日に議会報告会を開催すべく下記内容で準備をし
て参りましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止することに決
定しました。なお、当日使用予定でした説明資料はホームページに掲載する他、議
会事務局で配布いたします。何卒ご理解をお願い申し上げます。

広報広聴常任委員会

比企広域市町村圏組合議会

2月8日(火)令和4年第1回定例会が東松山市議
会議場にて開会され、提出された議案13件は原案
通り可決されました。

●議案第2号

比企広域市町村圏組合消防
団員の定員、任免、給与、服
務等に関する条例の一部を改
正する条例の制定
*消防団の災害対応能力の向
上及び消防団員の確保を目
的として、活動内容を限定
して対応する機能別消防団
を東秩父消防団に導入する。
(10人)

*歳入歳出予算の総額にそれ
ぞれ150万円を追加
総額 4億472万円

●議案第9号

令和4年度比企広域市町村
圏組合一般会計予算について
*歳入歳出予算総額
6950万円
(前年比△2.1%)

●議案第10号

令和4年度比企広域市町村
圏組合消防特別会計予算
*歳入歳出予算総額
32億5800万円
(前年比+2.8%)

●議案第12号

令和4年度比企広域市町村
圏組合介護認定及び障害者支
援区分審査会特別会計予算
*歳入歳出予算総額
7350万円
(前年比+3.5%)



～町民に開かれた議会を目指して～

5/21 (土) 第20回 議会報告会のお知らせ

中止します

① 午前9時～(受付: 8時30分～)
② 午後1時30分～(受付: 1時～)
場所: 町民ホール

駅西口ですが、今後どのように
なるか広報で取り上げてほしい。

重忠まつり楽しみです。

町政には無関心でしたが、「検討する」「努力する」「要請している」等の答弁には鋭く切り込んでほしい。

4月からのゴミ分別どこまで徹底したらよいか、早めに知りたい。燃えるゴミに混じったプラスチック片など懸念事項がある。広報より前に説明会開き質疑の場が欲しい。現在でも指定日以外や回収不能のものなどルールが守られず環境美化担当は苦勞している。



©嵐山町 2011

一般質問は紙面でも熱さが伝わって来ます。傍聴して実際のやりとりを聴きたいがなかなか聞きません。いつか傍聴してみたい。

多くの方が議会報告会に参加したらよいと思う。立派な議場で自分の目・耳で見れば楽しくなる。

※「こえ」欄は要約させていただいております

次回(第2回)定例会 6月2日(木) 開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。
請 願・陳 情 は 5月25日(水) 午後5時までに提出してください。

【応募方法】

ハガキに答えの記号(例 ①ーイ)
住所・氏名・年齢を書いてお送りください。1家族1通のみを有効とします。
議会だよりの感想もお聞かせください。

【宛先】

〒355-0211
嵐山町大字杉山1030-1 議会事務局

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードを差しあげます。発表は次号に掲載します。

【しめきり】

令和4年6月30日(木)まで

コメントがほしいな



議会だよりのクイズ 正しいものはどれでしょう？

問1 令和4年度一般会計予算の総額は

イ、14億8500万円 □、19億3700万円
ハ、61億7300万円

問2 令和4年第1回定例会の傍聴者数は

イ、15人 □、33人 ハ、44人

問3 令和4年第1回定例会で一般質問した議員は

イ、10人 □、9人 ハ、8人

図書カード(千円)が当たります

議会だよりのクイズ 当選者です！

応募者20人中17人が正解でした。正解は、問1ーイ、問2ー□、問3ーハです。当選者のみなさんおめでとうございます。

山下 武宏 様 (菅谷)
関 幸子 様 (菅谷)
宮村 光彦 様 (むさし台)
野村 真人 様 (むさし台)
小澤 菊江 様 (千手堂)



春らんまんの都幾川堤と大平山=R4. 3. 31

編集後記

町のあちこちから花のたよりが聞こえてきます。

3月定例会の開会はまだ肌寒く感じる2月の末でしたが進むにつれて庁舎の窓から梅の花が覗かれ、終了する頃には上着を脱ぐような暖かさとなりました。

春休みを迎える頃には菜の花畑が黄色に染まり都幾川堤の桜も満開、風景が一気に春を迎えます。

本号が配布される頃には、里山も若緑に芽吹き軽やかに笑います。

コロナ禍で翻弄された令和も4年度を迎え、対策が日常の風景となりました。新年度予算で陽ざしの暖かい爽やかな年になって欲しいものです。

故郷やどちらを見ても山笑み(ご機嫌) (いよやん)